

第4回バイオマス活用事業実現可能性検討委員会  
議事要旨

■年月日：平成30年10月25日(火) 13:15～15:40

■場 所：大熊町役場 いわき出張所 (2階多目的ホール)

■出席者：【検討委員】(敬称略)

双葉地方広域市町村圏組合 事務局長 秋元 正國

大熊町役場 副町長 吉田 淳

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 山岡 賢

福島大学 教授 新田 洋司

福島大学 特任准教授 石井 秀樹

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野中 章久

大熊町農業委員会 会長 根本 友子

福島県相双農林事務所 双葉農業普及所 所長 佐久間 秀明

大熊町役場 産業建設課長 柳田 淳、以上9名

【専門家】

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター 小野 司、以上1名

【事務局】

大熊町役場 産業建設課 課長補佐 澤内 和彦

大熊町役場 産業建設課 主任主査 東 裕行

大熊町役場 復興事業課 森 俊貴

(株)アグリパートナーズ 小野寺 健一、以上4名、計14名

■欠席者：なし

■資 料：資料1 第3回検討委員会議事要旨

資料2 第3回検討委員会の指摘事項について

資料3 鳥獣被害について

資料4 試験栽培レポート(ソルガム)

資料5 エネルギー作物、評価表(案)

資料6 農業経営について

■資料説明及び意見交換

【資料2 第3回検討委員会の指摘事項について】(事務局)

- ① 住民意向調査(大熊町民の帰還意向の推移)
- ② 主なできごと(第4回～第6回調査の前後)
- ③ 農業機械(作物の写真4点、農業機械の写真7点と動画4点)
- ④ エネルギー作物 年間作業表(播種・植付、収穫)

⑤ 作物の組み合わせ例（イネ科3種類、混合三種）

【資料3 鳥獣被害について】（小野研究員）

- ・浜通り地域の有害鳥獣に関する生態と対策について。
- ・有害鳥獣の生態・被害・対策について。
- ・鳥獣被害防止柵の例について。  
→単位当たり金額は、電気柵が「300円/m」、「ワイヤーメッシュ」は「600円～1,000円/m」位である。
- ・栽培品目ごとの影響比較などについて。
- ・エネルギー作物栽培における鳥獣被害対策のポイントについて。

【資料4 試験栽培レポート（ソルガム）について】（石井委員）

- ・ソルガム収穫は10/5に完了した。
- ・西側「堆肥・追肥区」と東側「無堆肥・無追肥区」では収量に差が出た。
- ・「堆肥・追肥区」へ十分な量の元肥を入れれば、乾物収量は「約2t/10a」程度可能である。
- ・ソルガムの乾燥重量はトウモロコシの3倍以上あった。

【資料5 エネルギー作物、評価表（案）】（事務局）

- ・栽培品目及び、評価項目について。  
→評価表を基に第5回の検討委員会で大熊町に適した発酵方式に関する議論を行う予定。

【資料6 農業経営について】（野中委員）

- ・10a当たりの労働時間について。
- ・10a当たりの労働時間の比較について。
- ・震災前の農業労働力構造、必要な対策、必要な対策、農地の所有と利用の分離について。
- ・プラントと作物の関係について。

■検討内容

- ・鳥獣被害と対策について  
→箱罾以外のイノシシ対策として、足くくり罾、囲い罾、銃猟等があるが、大熊町の状況を踏まえると、箱罾が最も効果的と考えられる。また、ソルガム、エリアンサス・Gミスカンサスは食害被害事例の報告は無いが、潜み場所としての懸念はある。
- ・エネルギー作物、評価表について

→収量、バイオガス発生量、メタン濃度、1ha 当たりメタン発生量に関する定量化数値は概ね問題無い事が確認された。しかし、鳥獣害による食害割合を定量化する事は時期と対策により異なるため難しい。

→必ずしも品目を一つに絞る必要はなく、概ね栽培体系が同一となるイネ科や芋類といった単位で検討を進めることも可能との意見があった。その上で、イネ科の作物の方が芋類よりも省力性に優れていることが明らかになった。

・営農組織について

→既存の転作対応組織は高齢化しており、担い手としては難しい状況であった。しかし、大熊町が新規就農者の受け入れ体制を整備する事によって、獲得する事が出来ると思う。

・農業経営について

→大熊町の風土状況、帰還状況、特定復興再生拠点への取り組み状況を柔軟に考えながら、決まった前提条件としての面積や仕組みにとらわれず、段階的なステップアップを検討する必要もある。

→今回の事業は、除染後の農地を荒らさずにどのように保全管理していくかに原点がある。国による管理耕作の補助は解除後3年までとされており、その後をどうするか、地権者も主体性を持って考えなければならない。町の施策は地代の要否等を含め、公共性を十分踏まえて検討していく必要がある。

以上